



玉津公民館だより

心がかよう 住んでよかったまちづくり

学区の現況

(令和4年6月30日現在)

- ・世帯数
1,578 (+10)
- ・人口
4,295 (+25)
- () は前月比

まちづくり・学区社協合同館外研修



7月9日(土) 参加者17人で公益財団法人関西盲導犬協会へ研修に出かけました。関西盲導犬協会では、1歳になった子犬10頭に盲導犬になるための訓練を日々されています。また、今回、盲導犬のクリード君が訓練の方法や視覚障がい者の方との行動の方法を教えてくださいました。「マテ」と言われれば待ち、階段では上りは前足2本をストップ、下りはギリギリのところまでストップしユーザーの方に教えてくださいました。また、ハーネスの上下運動でもわかるそうです。盲導犬たちが暮らす「木香テラス」は生活環境が整えられた場所で犬に合わせてゲージの大きさがちがい、利用者宅に慣れるように街中での訓練もされるそうです。課題として、まだまだ盲導犬が認知されていないために立ち寄れるお店が少なく、少しでも多くの方に理解を深めていただきたいと話されていました。



玉津学区人権学習会を開催！ まちづくり人権・同和部会

7月16日(土) 53名の方にご参加いただき、学区人権学習会を地域総合センター人権講座と合同で開催しました。講師に、れいんぼ一神戸代表の内藤れんさんをお迎えして「多様な性を知る～LGBTQから学ぶ多様性」をテーマにご講演をいただきました。内藤さんは福祉系の大学に通いながら、性について悩んでいる方の相談場所や居場所づくりの活動をされています。ご自身も中学生の頃に制服のスカートへの抵抗や女の子を好きになったことなどをきっかけに自分の性について気づかれたそうです。信頼している相手だからこそリスクを伴うカミングアウトができるので絶対に他人の秘密を勝手に言わない(アウティング)でほしい。また、LGBTQの方が日常生活の中で困るのは戸籍の性別で分けられているトイレや社会的な性別や異性愛前提で分けられていることだと話されました。今回の学習会を通して性に対する気づきと「LGBTQ」について理解していただけたと思います。



学区地域行政懇話会を開催

7月7日(木) 玉津学区地域行政懇話会が自治会長、地元市議会議員、宮本市長をはじめ関係部長他の出席で開催されました。市からの行政課題のあと学区から提出された「天神川改修および赤野井守山線道路改良事業の



早期完成について」など3つの議題について、現状や改善策など前向きな話し合いがなされました。

まるごと歴史伝統文化プロジェクト語り部部会

7月1日(金) 玉津小学校4年生から6年生の子どもたちに、今年度初めての「語り部」の活動をされました。各クラスに分かれた部会員のみなさんは、紙芝居やパワーポイントなどを使ってお話をされました。子どもたちは、みなさんのお話を熱心に聞いていました。 少林寺の雷池→

